

# 読書ノート

新型コロナウイルス感染拡大、都府県に緊急事態宣言に伴なに、オンラインでアカウントの花束にて、近所や友だちに贈られた。しかし、花束はまだ届いていない。そこで、図書館で借りて何度もページを開いた。文字もない、背景など余分なものもない、白いページに黒い鉛筆で一見ラフに描かれた一匹の大、毎朝散歩のときに会うボクサー大に似た中型犬、ある日、大は野の道を疾走する車の窓からすてられる。飼主を追う続ける大、疲れ果てる。クーと悲しみの声が聞こえる。すごい絵、ことはばは一言もないのに大の気持ちがストレートに心にひびく。体がわかる。そしてこの本、誰かに見せざるにはいられない、迫真の絵のか、せひどうぞ。

## 世界の児童文学をめぐる旅

池田正孝著(写真も)(株)エクスナレッジ  
章子さんからせひにとすすめられた本、「40年以上にわたって海外児童文学の舞台を訪ね、写真に収めてきた著者が物語の背景と創作の源泉に迫る」と蒂にある。

「ピーターラビットのおはなし」「クマのプーさん」「秘密の花園」など、英国を舞台にした児童文学の数々、「ニ尔斯のふしきな旅」長くつづけた「セイヒ」、「やかまし村の子どもたち」など北欧の物語など……、写真がすばらしい。児童文学の見えない力を感じた。私自身、母に読んでもらつた幼いころから、夢中で読んだ少女時代、娘時代、そして娘たちに読み聞かせながら、いつまでも楽しかった日々、人と本、人と人とかつながりながらいく。一生のたからもの。これらの本もう一度読みたい。

今年も竹中農園のシクラメンが火盆の名前通り、家があらわしくなる。

私も思ひ出した

奥さん  
ハイオリンを好きになったのは  
町にチンドン屋がやってきて  
その中のハイオリン弾きにひかれて  
私はすうとつけて行った。

チンドントーンチンドントーン  
高知の町に  
やってきたチンドン屋、笛や太鼓の中にハイオリン。  
そして少女の胸に夢の種をまいた。

私もチンドン屋見たことある。

私が富山の葉巻も思ひ出した。

あみやげは紙ふくせん  
トマのハンコシタ

セミヒルク  
吹きもどしも! 2枚  
クリスマスに

仙台と福井の  
孫に送った吹きもどし。

とってもお高い入り口

おとうさんとおじさん  
詰められた

汽車は、山の中の土讃線を何時間も走る。高松から船で本州へ

大根と豚ハラ甘辛みを炒め(テリ zie)見て  
大根 350g 5cm長さ1cm角棒状に、お根の  
豚ハラをすり、200g ひと口大に切る  
青ネギ2本、斜めすり切り水に5分、水気ふく。  
④ おろししょうが1kg 砂糖大さじ $\frac{1}{2}$  } 地  
酒大さじ2、みそ大さじ2 } よく  
しょうゆ小さじ1 シオウミ  
⑤ フライパンにサラダ油大さじ1を熱し、大根  
を並べ、向きをかえながら6~7分、焼き目か  
づくまでじっくり焼く。皿にひつておく。  
このフライパンで豚肉炒め、大根を  
戻して④をませてからめる。

大根の  
口当りが新鮮。

器に盛り青ネギを上に、

スヌーピー<sup>スヌーピー</sup>  
モズ<sup>モズ</sup>  
ショウジョウ<sup>ショウジョウ</sup>  
ハト<sup>ハト</sup>  
ホバード<sup>ホバード</sup>

忙しくミカンをつぶす  
おこたでぬもリながら

見つかると  
なんともいえず

やつまた、  
冬日を暖ん  
あひ

メシロだけ  
入れる間なく  
にじいろ

けやき通信 2021.1月  
No.331

—錦織佳代子—



『いまを慈しみことで自分らしく楽しむ』

等身大の『足るを知る』暮らし

中村好文(澤築家)  
夏実(染色家)

先月号に続い

イスカとの出会いが素晴らしい、そこから始まる物語にすっかり魅せられました。」と千葉のゆうこさんからうれしい便りを頂いた。

12月に松山からGORICAに来てくれた庄川さん、山本さんと同じ大学に勤めていた。

山本さんの趣味は現代音楽も。スピーカーやアンプにも凝つたらいい。

GORICAさんから思ひ出した

奥さんは子どものころ、高知から汽車と船を乗りついで神戸か大阪まで

ハイオリンのレッスンに通つた。

どうぞおとどけ

汽車は、山の中の土讃線を何時間も走る。高松から船で本州へ